今年の山鉾巡行順序 The order of the floats in the procession 2025

前祭 Saki Matsuri (Early Procession)

今和七年七月一日の「くじ取り」による
※巡行は三日と五日の二日間です

7/17 (木)

1 長刀鉾 (NAGINATA-HOKO)

鉾上に長刀をうけ、疫病邪霊をはらいながら巡行の先頭をとぐる。そのたびに「ほうほう」と歓声をあげる。鉾の中心を唐・楼閣造り、屋根の上に金の鳳凰を乗せ、長刀の先に「鉾の稚児」を乗せ、「鉾の稚児」が「ほうほう」と唱えながら、長刀を左右に振り、疫病邪霊を祓う。

2 占出山 (URAGE YAMA)

神功皇后が肥前国松浦で鮎釣りで戦勝の兆しとなった故事を題材にした山。御神体の神功皇后は古来安産の霊として祀られ、三代会津藩主保科正之が奉納した「鮎釣り人形」が飾られている。又、見送りは「花鳥風月後」の順に用いられ、近年それぞれを後元新調、宵山には金襴の前掛が新調された。

3 蟹天神山 (KANIDENJINYAMA)

永平寺開二(1300)年、京都で大火があったとき、時鳥なき蟹が降って水を鉾にかけ、その火を消したという。蟹の天神様が鉾の上にのっているのはこのことからである。この山の起こりは、そのいわれから、「鉾天神」と呼ばれていた。又、「蟹天神」の名は、「蟹の恩返し」の故事から、「蟹の恩返し」の故事を題材にした山であり、見送りは「花鳥風月後」の順に用いられ、近年それぞれを後元新調、宵山には金襴の前掛が新調された。

4 山伏山 (YAMABUSHIYAMA)

修験道の祖役小角が、浄蔵貴所が八坂の塔を京都市の方角に傾けたのを見た事から、「傾き直し」の故事にちなんで、「傾き直し」と呼ばれていた。又、「傾き直し」の名は、「傾き直し」の故事にちなんで、「傾き直し」と呼ばれていた。八坂神社からの清祓をしたことから、「清祓